

提言書

高速道路は、経済活動を支える重要な社会資本であるとともに、自然災害への備えを高める上で不可欠な基盤です。喫緊に迫る南海トラフ地震のリスクと気候変動の影響等で激甚化・頻発化する自然災害の脅威、物価高騰等で疲弊した地域経済の復興等に対応していくため、「四国8の字ネットワーク」の早期整備が重要となります。

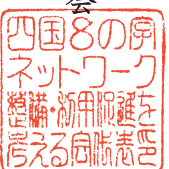
このため、四国の総意として、次の事項について提言します。

- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、頻発する災害や物価高騰なども踏まえ、継続的・安定的に対策を進めるため、令和六年度補正予算において、例年を大幅に上回る規模で、必要な予算・財源を確保した上で、老朽化対策を含めて計画的に事業を推進すること
- 一、令和六年度能登半島地震などを踏まえ、既設構造物の機能強化などを推進するため、国土強靱化実施中期計画の策定に早期に着手し、資材価格などの高騰も踏まえた必要な事業規模と期間を盛り込んだ上で、令和六年度内に完了させ、必要な予算・財源を別枠で確保すること
- 一、「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消に向け、事業中箇所整備を促進するとともに、開通時期を早期に提示すること
- 一、計画段階評価完了区間を早期に事業化するとともに、未実施区間の計画段階評価を早期に実施すること
- 一、有料の高速道路について、料金徴収期間の延長による財源を活用し、更新事業等や耐震補強、暫定二車線区間の四車線化などの機能強化を着実に進めること
- 一、高速道路の更なる利活用を促進し、カーボンニュートラルの推進やドライバー不足への対応の観点から、ピンポイント渋滞対策の実施及びスマートICの整備、ETC専用化、休憩施設の機能強化等を推進すること

これらの項目を踏まえ、資材価格などの上昇に対応する中でも、山積する道路整備の課題に対応し、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和七年度予算では「8の字」をはじめ四国の道路整備関係予算は、所要額を満額確保すること。また、国土強靱化のみならず我が国の生産性を向上させ、成長力・国際競争力を強化する観点からも、公共事業を含む令和六年度補正予算を確保すること。

令和六年十一月二十七日

四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会



四国経済連合会会長

長井啓介

徳島県知事

後藤田正純

香川県知事

池田豊人

愛媛県知事

中村時広

高知県知事

濱田省司



吉一紫舟